

図書館だより



No.178

2010(平成22)年12月17日発行

編集・発行 福島県立図書館

〒960-8003 福島市森合字西養山1番地

Tel 024-535-3218 Fax 024-536-4787

<http://www.library.fks.ed.jp/>

～寒い冬に読書はいかがですか？～

寒い冬がやって来ました。こんな時には、あたたかいこたつで図書館から借りた本をゆっくり読んでみてはいかがでしょうか。また、図書館では今年の冬も様々な展示や講座が予定されています。お気軽に図書館にお立ち寄り下さい！

◆ 展示 ◆

「赤羽末吉展 ～昔話絵本の魅力～」

【開催期間：平成23年1月7日（金）～4月6日（水）】

赤羽末吉(1910～1990)は日本を代表する絵本作家です。デビュー作となった『かさじぞう』は東北各地(県内では猪苗代や会津坂下など)に取材したスケッチ・写真をもとにして描かれたもので、雪国の民俗の生き生きとした描写が魅力です。展示ではその『かさじぞう』や『つるようぼう』など、赤羽末吉の代表的な昔話絵本を取り上げます。あわせて、昔話絵本についての研究資料も紹介します。

◆ ロビー展示 ◆

◇ 『福島信夫ライオンズクラブ 平和ポスターコンテスト』

平成22年12月 3日（金）～平成23年1月5日（水）

◇ 『さとう静岳 手作り書道アート展』

平成23年 1月 7日（金）～平成23年2月2日（水）

◇ 『被害者に優しい「ふくしまの風」運動パネル展』

平成23年 2月26日（土）～平成23年4月6日（水）

展示や講座の案内が日限票でも見られるようになりました！

*日限票の裏面には返却可能な図書館や講座・行事予定を掲載しています。

◆ 講座のご案内 ◆

*12～2月の講座についてご案内します。詳細は当館HPやチラシをご覧ください。

◇ 『認知症の予防』(事前予約、当日参加可)

平成23年 1月20日（木） 14:00～15:00

◇ 『自分で本を検索してみよう！蔵書検索端末機の使い方講座』

平成23年 1月20日（木） 14:00～14:40



◆ 休館日のお知らせ ◆

*長期の休館にご注意ください。休館日はHPでも確認できます。



◇ 年末年始

:平成22年12月28日（火）～平成23年1月4日（火）

◇ 図書特別整理期間

:平成23年 2月14日（月）～平成23年2月24日（木）

新着案内

各分野の担当者が選んだ、お勧めの新着資料をご紹介します。

人文・自然

『本を千年つたえる (朝日選書)』 藤本孝一／著
朝日新聞出版 2010.10 911.102/㊦10X

「歌の家」冷泉家に伝わる古写本の数々。御文庫には歴代当主が代々受け継いできたもの以外に、対立していた家から流入した写本もあり、伝来の歴史には奇跡的な偶然もあったと著者は述べています。千年の時を経て現在に伝わる古典。受け継いで来た人々のところに思いを馳せてみてはいかがでしょうか？冷泉家の典籍は冷泉家時雨亭叢書として刊行されており、当館でも所蔵しております。写真版による影印本のため、親本の姿そのままを見ることができます。

『地域再生の罫 (ちくま新書)』 久繁 哲之介／著
筑摩書房 2010.7 601.1/㊦107/

大型商業施設への依存や間違った前提をもとにした政策など、地方再生を妨げている事例や理由を、福島市を含む6つの県庁所在都市に焦点をあてて解き明かします。

また市民が本当に豊かになるための「7つのビジョン」を打ち出し、具体的な提言もしています。

地方再生を考えるのに非常にわかりやすい内容の新書です。

社会

『江戸文化の見方 (角川選書)』 竹内 誠／編
角川学芸出版 2010.1 213.61/㊦101

本書では江戸の庶民によって発展した「江戸文化」について、衣食住や旅・娯楽、茶・香・華に代表される遊芸、信仰など、10のテーマに分け解説しています。この1冊で江戸文化の全体像を掴むことができ、入門書としてもおすすめです。

近年、地球にやさしい循環型社会として「江戸文化」が注目され、メディアでも頻繁に取りあげられています。ぜひこの機会に「江戸文化」に触れてみませんか？

『「戦地」に生きる人々 (集英社新書)』

日本ビジュアル・ジャーナリスト協会／編
集英社 2010.9 319.8/㊦109

戦火にさらされ、理不尽な暴力に支配されながらも、人間としての誇りを失わずに生きている人々があります。大マスコミが足を踏み入れない世界の「戦地」に単身潜入してきたジャーナリスト集団による取材報告。チベット、ビルマ (ミャンマー)、マーシャル諸島、ハイチ、チェチェン、レバノン、パレスチナ、同じ今という一日を生きている人間がいます。本書から、真実を知ってほしいという人々の切なる姿が見えてきます。

雑誌・新聞

寒い冬も近づき、体調を崩しやすい季節になりました。そこで、毎日の食事や生活習慣などから健康について見直してみたいと思いませんか？

12月から始まった「健康と暮らし雑誌」のミニ展示にちなみ、当館所蔵の最新号をご紹介します。

『暮しと健康』2010.12発行 保健同人社 Z490.5/H1
特集：その症状、年齢のせいにしていませんか？

現代の「たばこ病」 COPD の正体

息切れ、たん、せきなどが続き呼吸困難に陥る慢性閉塞性肺疾患 (COPD)。その現状や予防法、治療法などが紹介されています。

『栄養と料理』2010.12発行 女子栄養大学出版 Z596/E2
特集：使える時間栄養学

どれだけ食べるのかだけでなく、いつ食べるのかという疑問にヒントを与える「時間栄養学」。その概念や時間栄養学に基づくダイエットの食事アドバイスも掲載されています。

『明日の友』2011.1 暮しの手帖社 Z590.5/K1

特集：「不整脈」あなたのタイプは心配ない？

不整脈の原因や不整脈のタイプ、タイプごとの治療法が紹介されています。体験者によるお話も併せて掲載されています。

地域

『信夫』歴史春秋出版／企画・制作
歴史春秋出版 2010.10 L211/R1/1

吾妻連峰と阿武隈山地の間に位置し、中央に阿武隈川の流れる福島市を中心とした信夫地方は、豊かな自然の中で多彩な歴史と文化を育んできました。

そんな信夫の里の魅力を、余すところなく味わうことができる一冊。特に文芸・芸術の面で充実した内容となっています。

特別付録に、昭和初期の福島市街や飯坂温泉街を描いた美しい鳥瞰図を収録。見やすく詳細な市街地に、本来は遠景として見えない樺太や富士山までもが描かれている、緻密にして大胆な作図は必見です。

昨年刊行された同シリーズの『安積』も併せて、信夫・安積の歴史をめぐる小さな旅へでかけませんか？

『二本松藩戊辰戦史』 相原秀郎／著

民報印刷 2010.7 L212/A8/1

幕末の動乱において最も規模が大きく、明治政府を新たな統治機関として確立させた戊辰戦争。このとき、渦中の会津藩の隣に位置していた二本松藩はどう動いていたのか。

本宮町史編纂の折に東北大学図書館で発見された新資料「戊辰事件諸隊長及事務二関侯面々書出」に基づき、現・郡山周辺の安積地域に造詣の深い著者が新たにまとめ直した、二本松藩における戊辰戦争の実態。